

中世益田地域・益田氏に関する文献

※今回（令和4年6月末日）の更新で追加した文献を太字にしています。

〈自治体史等〉

- 1927-29 島根縣史編纂掛『島根縣史』第6～8巻（中世 野津左馬之助執筆）島根縣
1952 矢富熊一郎『益田町史』上巻 益田公民館
1963 矢富熊一郎『益田市史』益田郷土史矢富会
1965 矢富熊一郎『石見匹見町史』匹見町役場
1967 『新修島根県史』通史編1（中世 藤岡大拙執筆）島根県
1968 美都町史編さん委員会『美都町史』美都町
1975 益田市誌編纂委員会『益田市誌』上巻（歴史編 矢富熊一郎執筆）益田市
2017 益田市教育委員会編『中世益田ものがたり』益田市・益田市教育委員会

〈通史〉

- 1997 『図説日本の歴史32 図説島根県の歴史』河出書房新社
2005 『県史32 島根県の歴史』山川出版社
2018 『島根県の合戦』いき出版

〈辞典・事典等〉

- 1979 『角川日本地名大辞典32 島根県』角川書店
1982 『島根県大百科事典』上巻・下巻 山陰中央新報社
2001 『日本歴史地名大系33巻 島根県の地名』平凡社
2001 『島根県歴史大年表』藤岡大拙監修 郷土出版社

〈史料集・史料目録（古文書）〉

- 1967 山口県文書館編『萩藩閥閥録』第一巻 山口県文書館
1968 山口県文書館編『萩藩閥閥録』第二巻 山口県文書館
1970 山口県文書館編『萩藩閥閥録』第三巻 山口県文書館
1971 山口県文書館編『萩藩閥閥録』第四巻 山口県文書館
1971 山口県文書館編『萩藩閥閥録遺漏』山口県文書館
1972 国守進「石見内田家文書について」（『山口県文書館研究紀要』1号）
1979 『昭和52・53年度歴史資料調査報告書 益田家歴史資料目録』山口県教育委員会
1986 鈴木國弘『日本大学総合図書館所蔵 俣賀文書』
1993 国立歴史民俗博物館『「非文献史料の基礎的研究（棟札）」（報告書 社寺の国宝・重文建造物等 棟札銘文集成—中国・四国・九州編—）の島根県 万福寺の項
1994 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田兼見とその時代—益田家文書の語る中世の益田（一）—』益田市教育委員会
1996 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田兼堯とその時代—益田家文書の語る中世の益田（二）—』益田市教育委員会
1999 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田藤兼・元祥とその時代—益田家文書の語る中世の益田（三）—』益田市教育委員会

- 2000 東京大学史料編纂所『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之一』東京大学出版会
- 2003 東京大学史料編纂所『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之二』東京大学出版会
- 2006 東京大学史料編纂所『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之三』東京大学出版会
- 2008 久留島典子（研究代表者）『大規模武家文書群による中・近世史科学の統合的研究－萩藩家老益田家文書を素材に－2003～2007年度科学研究費補助金基盤研究（A）研究成果報告書』
 久留島典子「毛利家文庫「譜録」所収の中世益田家文書」
 久留島典子「益田金吾家文書（中世分）の紹介と考察」
 久留島典子「原屋邦司氏所蔵文書の紹介と考察」
 久留島典子「新出周布文書の紹介と考察」
 「史料編纂所所蔵「益田家文書」〔什書分〕史料目録」
 「益田都氏所蔵・史料編纂所寄託「益田家文書」〔寄託分〕史料目録」（付録CD-ROM）
- 2012 東京大学史料編纂所『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之四』東京大学出版会
- 2013 村井良介（研究代表者）『戦国期の大名分国における「戦国領主」の研究－2010～2012年度科学研究費補助金研究若手研究（B）研究成果報告書』
- 2015 中司健一「山口県文書館寄託「益田高友家文書」中世分の翻刻と紹介」
 （『東京大学史料編纂所研究紀要』25号）
- 2016 佐伯徳哉・目次謙一・中司健一・西田友広「島根県浜田市三隅歴史民俗資料館寄託「三隅二宮神社文書」中世分の翻刻と紹介」（『東京大学史料編纂所研究紀要』26号）
- 2016 益田市教育委員会編『中世益田・益田氏関係史料集』益田市・益田市教育委員会
- 2017 中司健一・濱田恒志・目次謙一「浜田市岡見八幡宮所蔵古文書・隨身坐像」
 （『季刊文化財』141号 島根県文化財愛護協会）
- 2018 田中大喜・中島圭一・中司健一・西田友広・渡邊浩貴「益田實氏所蔵新出中世文書の紹介」
 （『国立歴史民俗博物館研究報告』第212集 国立歴史民俗博物館）
- 2018 小倉嘉夫・倉恒康一・中司健一・長村祥知・西田友広・目次謙一
 「大阪青山歴史文学博物館所蔵「吉見家文書」の翻刻と解説」（『大阪青山大学紀要』11号）
- 2019 久留島典子「益田氏系図再考－史料編纂所寄託益田氏関係系図の紹介と考察－」
 （『東京大学史料編纂所研究紀要』第29号）
- 2021 中司健一「浜田市三隅町正法寺の棟札」（『石見銀山研究』創刊号）
- 2021 多良木町教育委員会編『多良木町文化財調査報告書第二集 肥後宗像家文書 調査報告書』
 多良木町教育委員会
- 2022 小松真人「新出江木家文書の紹介」
 （島根県古代文化センター編『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター）

〈資料紹介（文化財全般）〉

- 1989 長谷川端「新出太平記二種覚書一日置狐白軒書写本と益田兼治書写本と一」（『芸文研究』55号）
- 2002 小秋元段「國學院大学図書館蔵益田兼治書写本『太平記』について」
 （石川透・岡見弘道・西村聡 編『徳江元正退職記念鎌倉室町文学論叢』三弥井書店）
- 2004 安嶋紀昭「萬福寺所蔵二河白道図について」（『佛教文化研究』第47・48号 浄土宗教学院）
- 2011 椋木賢治「医光寺調査報告（彫刻）」（『研究紀要』第5号 島根県立石見美術館）
- 2012 榊原博英「島根県西部（石見国西部）における中世出土銭貨」（『出土銭貨』31号）
- 2013 佐伯昌俊・西尾克己「益田市萬福寺所蔵 華南三彩壺」（『貿易陶磁研究』No.33）

- 2014 佐伯昌俊「石見西部における出土銭貨」（『出土銭貨』34号）
- 2017 益田市教育委員会『市内石造物調査概報1』
- 2018 村上 勇・西尾克己・廣江耕史・木原 光・守岡正司・佐伯昌俊「石見国・石塔鬼王帝釈天王国社
経塚」（島根県古代文化センター編『石見の中世領主の盛衰と東アジア海域世界』島根県古代文化
センター）
- 2020 益田市教育委員会『益田市内石造物調査概報2』
- 2021 益田市教育委員会『益田市内石造物調査概報3』
- 2021 角野広海「作品紹介：≪釈迦十六羅漢図≫（一六世紀、島根県益田市・妙義寺蔵）」（『島根県立
石見美術館研究紀要』15号）
- 2022 島根県古代文化センター編『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター
間野大丞「益田市東仙道土居遺跡の中世石造物と石材」
木原 光「益田市萬福寺で発見された層塔の部材について（資料紹介）」
守岡正司「益田市美都町本郷遺跡出土の湖州鏡」
上山晶子「益田市出土湖州鏡の蛍光エックス線分析」
守岡正司「島根県内出土滑石製品一覧表」
目次謙一「石見西部地域出土中世銭貨一覧」
田村 亨・目次謙一「益田氏・吉見氏関連歴史資料一覧表」

〈図録〉

- 1996 益田市立雪舟の郷記念館編『雪舟と萬福寺』益田市立雪舟の郷記念館
- 1998 益田市立雪舟の郷記念館編『中世益田氏関係文書』益田市立雪舟の郷記念館
- 1999 益田市立雪舟の郷記念館編『よみがえる中世の益田』益田市立雪舟の郷記念館
- 2017 目次謙一・角野広海編『石見の戦国武将』島根県立石見美術館
- 2019 中司健一・角野広海編『特別展 益田氏VS吉見氏—石見の戦国時代—』（展示ガイド）
島根県立石見美術館
- 2021 中司健一編『雪舟ゆかりの戦国武将—益田氏・大内氏・毛利氏—』
益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
- 2022 国立歴史民俗博物館展編『中世武士団』国立歴史民俗博物館

〈論文・著作〉

- 1944 瀬川秀雄『吉川元春』富山房
- 1944 渡辺世祐・三卿伝編纂所『毛利元就卿伝 上巻』六盟館
- 1956 矢富熊一郎『石見清瀧山万福寺史』益田史談会
- 1958 矢富熊一郎『石見染羽天石勝神社史』染羽天石勝神社社務所
- 1961 矢富熊一郎『益田七尾城史』石見史談会
- 1961 藤岡大拙「封建前期における益田氏について—山陰中世史研究への若干の問題提起—」
（『出雲高校研究紀要1』島根県立出雲高等学校）
- 1962 西垣晴次「歴史的的前提—古代から中世へ、中世から近世へ—」
（和歌森太郎編『西石見の民俗』吉川弘文館）
- 1964 矢富熊一郎『石見滝蔵山医光寺史』島根郷土史矢富会
- 1964 小林 宏「石見益田氏の領主制について」（安田元久編『初期封建制の研究』吉川弘文館）。

- 1967 石井 進「鎌倉時代「守護領」研究序説（六 下野国の場合〔余論〕）」（寶月圭吾先生還暦記念会編『日本社会経済史研究 古代中世編』吉川弘文館。石井 進『日本中世国家史の研究』岩波書店、1970年および『石井進著作集 第二巻 鎌倉幕府論』岩波書店 2004年にも収録）
- 1968 石井 進「幕府と国衙の關係の歴史的展開」（『史学雑誌』77編3号 史学会。石井 進『日本中世国家史の研究』岩波書店、1970年および『石井進著作集 第一巻 日本中世国家史の研究』岩波書店 2004年にも収録）
- 1970 国守 進「石見益田郷の構造について」
（『国史論集 小葉田淳教授退官記念』小葉田淳教授退官記念事業会）
- 1970 石井 進『日本中世国家史の研究』岩波書店
「幕府と国衙の關係の歴史的展開」
（初出は1968年。『石井進著作集 第一巻 日本中世国家史の研究』岩波書店 2004年にも収録）
「鎌倉時代「守護領」研究序説（六 下野国の場合〔余論〕）」
（初出は1967年。『石井進著作集 第二巻 鎌倉幕府論』岩波書店 2004年にも収録）
- 1972 国守進「石見内田家文書について」（『山口県文書館研究紀要』1号）
- 1972 福田栄次郎「石見益田氏の研究—中世における領主制の展開とその性質—」
（『歴史学研究』第390号 歴史学研究会）
- 1973 松岡久人「南北朝室町期石見国と大内氏」（『広島大学文学部紀要』第32巻第1号 広島大学文学部。同著・岸田裕之編『大内氏の研究』清文堂 2011年に収録）
- 1977 国守 進「石見地方における領主制研究」（『地方史研究』第27巻第 4号 地方史研究協議会）
- 1979 広田八穂『石見益田氏の遺跡』
- 1980 岡崎三郎「益田氏覚書—その所領と消長—」（『月刊 歴史手帖』第8巻10号 名著出版）
- 1980 岸田裕之「南北朝室町期在地領主の惣庶関係」（広島史学研究会編『<史学研究五十周年>記念論叢 日本編』。同著『大名領国の構成的展開』吉川弘文館 1983年にも収録）
- 1981 長谷川徳四郎「研究ノート 鎌倉期益田氏研究のいくつかの問題」
（『研究紀要』13号 島根県立益田農林高等学校）
- 1982 井上寛司「貞応二年石見国惣田数注文の基礎的検討」（『山陰史談』第18号 山陰歴史研究会）
- 1983 岸田裕之『大名領国の構成的展開』吉川弘文館
「南北朝室町期在地領主の惣庶関係」（初出は1980年）
「芸石国人領主連合の展開」
- 1984 関 幸彦「諸国「在国司職」の消長（石見国）」（同著『国衙機構の研究』吉川弘文館）
- 1985 広田八穂『西石見の豪族と山城』
- 1989 国守 進「益田氏」（『地方別 日本の名族』第9巻中国編 新人物往来社）
- 1990 加藤益幹「石見益田氏と転封」（『年報中世史研究』15号 中世史研究会）
- 1991 井土 誠「雪舟没年再考論」（『下関市立美術館研究紀要』3号）
- 1992 井上寛司「上久々茂土居跡の歴史的 성격」（『上久々茂土居跡』島根県教育委員会）
- 1992 福田栄次郎「中世領主制の研究—益田家文書と益田家什書について—」
（『明治大学人文科学研究年報』第33号 明治大学人文科学研究所）
- 1993 大山喬平「遠州御家人内田氏の史的考察—内田家文書と俣賀家文書を中心に—」
（『高田大屋敷遺跡・第8次発掘調査報告書（排水路北部）』菊川町教育委員会）
- 1993 岸田裕之「石見益田氏の海洋領主的性格—永禄十一年の吉田毛利氏への出頭関係史料の紹介と解説—」（『芸備地方史研究』185号 芸備地方史研究会。同著『大名領国の経済構造』岩波書店 2001

年に収録)

- 1993 和田秀作「陶氏のクーデターと石見国人周布氏の動向—周布文書の紹介—」
(『山口県地方史研究』第70号 山口県地方史学会)
- 1993 大山喬平「荘園制」(『岩波講座 日本通史』第7巻 岩波書店)
- 1993 原 慶三「中世史四題」(『島根県立矢上高等学校研究紀要』第6号)
- 1994 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田兼見とその時代—益田家文書の語る中世の益田(一)—』益田市教育委員会
- 1994 福田栄次郎「「益田家文書」の「置文」について—中世領主制の一考察—」
(『明治大学人文科学研究紀要』35号 明治大学人文科学研究所)
- 1995 井上寛司「三宅御土居と益田氏」
(網野善彦・石井進編『中世の風景を読む4 日本海交通の展開』新人物往来社)
- 1995『月刊 歴史手帖 小特集 中世の城・館・まち』第23巻5号 名著出版
井上寛司「まちづくりシンポジウム・歴史の扉を開くについて」
石井 進「中世を活かしたまちづくり」
小島道裕「戦国期城下町としての益田」
千田嘉博「城館に益田氏をさぐる」
前川 要「出土土器・陶磁器から三宅御土居を考える」
玉井哲雄「建築史から見た七尾城と戦国期城下町益田」
井上寛司「中世石見益田氏の城・館と城下町—討論とまとめ—」
木原 光「七尾城跡の発掘調査について」
- 1995 益田市教育委員会編『まちづくりシンポジウム歴史の扉を開く—報告書—』益田市教育委員会
- 1995 岸田裕之「「人沙汰」補考—長州藩編纂事業と現代史小考—」(『山口県史研究』3号 山口県史編さん室。同著『大名領国の経済構造』岩波書店 2001年に収録)
- 1996 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田兼堯とその時代—益田家文書の語る中世の益田(二)—』益田市教育委員会
- 1997 秋山伸隆「室町・戦国期における安芸・石見交通」(『史学研究』218号、広島史学研究会)
- 1998『七尾城跡・三宅御土居跡—益田氏関連遺跡群発掘調査報告書—』益田市教育委員会
井上寛司「文献から見た中世益田氏と益田氏関係遺跡」
永原慶二「室町戦国期の益田氏」
千田嘉博「七尾城・三宅御土居の構造」
村上 勇「益田七尾城跡出土遺物の組成—陶磁器を中心に—」
- 1999 井上寛司・岡崎三郎『史料集 益田藤兼・元祥とその時代—益田家文書の語る中世の益田(三)—』益田市教育委員会
- 2000『中世今市船着場跡文化財調査報告書』益田市教育委員会
井上寛司「今市船着場遺跡の歴史的な性格」
永原慶二「益田市中世史跡群の中の今市船着場」
林 正久「益田平野の古地理の変遷」
服部英雄「今市船着場跡の歴史的な役割—益田川の河口津をめぐる状況—」
村上 勇「出土陶磁器から見た益田今市町地割地区の変遷—中世今市船着場跡の調査結果より—」
岩本正二「今市と草戸千軒との比較」

- 北垣聰一郎「伝中世今市船着場の石垣と石敷」
- 2000 井上寛司「中世石見の繁栄—西日本海水運の拠点—」（石井 進編集協力『ものがたり日本列島に
生きた人たち2 遺跡下』岩波書店）
- 2000 久留島典子「『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之一』」
（『東京大学史料編纂所報』第35号 東京大学史料編纂所）
- 2001 岸田裕之『大名領国の経済構造』岩波書店
「「人沙汰」補考」（初出は1995年）
「石見益田氏の海洋領主的性格」（初出は1993年）
- 2001 井上寛司「石見増野氏と増野甲斐守について」
（『暁音寺発掘調査概要報告書』益田市教育委員会）
- 2001 井上寛司『石見学ブックレット2 中世の港町・浜田』浜田市教育委員会
- 2001 久留島典子「契約する領主たち」（同著『日本の歴史13 一揆と戦国大名』講談社）
- 2002 上島 有「ある文書の流転の旅—侯賀家文書の分散とその復元」
（『古文書研究』55号 日本古文書学会）
- 2002 『三宅御土居跡—沖田七尾線街路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査』益田市教育委員会
永原慶二「三宅御土居の史的展開」
千田嘉博「三宅御土居の規模と歴史的位置」
村上 勇「益田三宅御土居跡出土遺物の組成—陶磁器を中心に—」
新谷洋二「益田市における歴史を活かしたまちづくり計画」
- 2003 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ（七尾城跡・三宅御土居跡・沖手遺跡・中世石造物分布調査）』益田市
教育委員会
井上寛司「平安末・鎌倉期の三宅御土居の歴史的性格」
古川久雄「石材から見た益田市の中世石造物」
内田 伸「益田市における花崗岩製石造物について」
- 2004 安嶋紀昭「萬福寺所蔵二河白道図について」（『佛教文化研究』第47・48号 浄土宗教学院）
- 2003 久留島典子「大日本古文書 家わけ第十八 益田家文書之二」
（『東京大学史料編纂所報』第38号 東京大学史料編纂所）
- 2004 井上寛司「中世の丸毛郷（別府）と丸毛氏—『安富家文書』の紹介をかねて—」
（『島根県美濃郡美都町埋蔵文化財調査報告書Ⅲ 森下遺跡』美都町教育委員会）
- 2005 鋤柄俊夫「中世西日本海地域の都市と館」
（矢田俊文・工藤清泰編『日本海域歴史大系第三巻 中世編』清文堂）
- 2005 山崎裕二「益田氏と雪舟」
（道重哲男・相良英輔編『街道の日本史38 出雲と石見銀山街道』吉川弘文館）
- 2005 改訂『都茂鉸山の歴史発見』益田市教育委員会
- 2006 久留島典子「大日本古文書 家わけ第二十二 「益田家文書之三」」
（『東京大学史料編纂所報』第41号 東京大学史料編纂所）
- 2006 林 正久「益田平野の成り立ちと沖手遺跡」（『沖手遺跡—1区の調査成果—一般国道9号（益田道
路）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書3』島根県教育委員会）
- 2006 川村博忠「豊臣政権下毛利氏領国時代の石見国絵図—その内容と作成目的—」
（『歴史地理学』231号、歴史地理学会）
- 2007 久留島典子「応仁文明の乱と益田氏—史料編纂所所蔵益田家文書中の差出不明仮名書状の考察—」

- (『東京大学史料編纂所紀要第』17号 東京大学史料編纂所。久留島2008報告書に再録)
- 2007 光成準治「有力国人と地域社会―石見益田氏を中心に―」
(同著『中・近世移行期大名領国の研究』校倉書房)
- 2007 倉恒康一「戦国初期の石見国の政治秩序について―一明応期の紛争を通じて見た―」
(『芸備地方史研究』254号 芸備地方史研究会)
- 2007 河窪奈津子「宗像追記考」が語る宗像戦国史の虚実」
(『福岡県地域史研究』第24号 福岡県地域史研究所)
- 2008 久留島典子(研究代表者)『大規模武家文書群による中・近世史科学の統合的研究―萩藩家老益田家文書を素材に―2003～2007年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書』
久留島典子「益田家伝来の中世史料」
久留島典子「応仁文明の乱と益田氏
―史料編纂所所蔵益田家文書中の差出不明仮名書状の考察―」(2007年のものを再録)
久留島典子「毛利家文庫「譜録」所収の中世益田家文書」
久留島典子「益田金吾家文書(中世分)の紹介と考察」
久留島典子「原屋邦司氏所蔵文書の紹介と考察」
久留島典子「新出周布文書の紹介と考察」
- 2009 村上 勇「地域研究と貿易陶磁・山陰―特に島根県益田川流域の発掘成果からの考察―」
(『貿易陶磁研究』No.29 日本貿易陶磁研究会)
- 2009 『西国城館論集Ⅰ 河瀬正利先生追悼論集』中国・四国地区城館調査検討会
松本美樹「三宅御土居跡の時期的変遷について」
守岡正司「島根県下における山城跡出土の陶磁器」
村上 勇「パリア海退が中世地域社会に与えた影響について
―日本海沿岸の遺跡を中心にして―」
- 2009 小島道裕「国人館と守護所」(同編『史跡で読む日本の歴史7 戦国の時代』吉川弘文館)
- 2010 井上寛司「中世の益田川関と沖手遺跡」
(『市道中吉田久城線道路改良工事に伴う文化財発掘調査 沖手遺跡』益田市教育委員会)
- 2010 小野正敏「生産遺跡から中世を見る」(『歴博』第160号 国立歴史民俗博物館)
- 2010 五味文彦「地域の力を歴史に探る11 山陰の益田から都市の発達を探る」
(『UP』第39巻第12号(通巻第458号) 東京大学出版会)
- 2010 桑田和明「小早川氏領国下における筑前国宗像氏について」(『七隈史学』第12号 七隈史学会。
「宗像氏貞没後の宗像氏」と改題して、同著『戦国時代の筑前国宗像氏』花乱社 2016に収録)
- 2010 影山純夫「『益田家文書』の中の雪舟作品」(『天開図画』8号 雪舟研究会)
- 2011 市村高男(研究代表者)『御影石製中世石造物の分布調査とその学際的研究―中四国・九州を中心に―2008～2010年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書』
- 2011 椋木賢治「医光寺調査報告(彫刻)」(『研究紀要』第5号 島根県立石見美術館)
- 2011 木原 光「遺跡報告 石見国益田の中世港湾遺跡群―最近発見の中須西原・東原遺跡を含めた中世湊の変遷―」(『日本考古学』第32号)
- 2011 西田友広「石見益田氏の系譜と地域社会」(高橋慎一郎編『列島の鎌倉時代』高志書院)
- 2011 西島太郎「室町幕府奉公方と将軍家」(『日本史研究』583号)
- 2012 佐伯昌俊「中世港湾遺跡からみた益田地域の流通―益田川・高津川流域を中心に―」
(『中近世土器の基礎研究』24号 日本中世土器研究会)

- 2012 久留島典子「『大日本古文書 家わけ第二十二 益田家文書之四』出版報告」
(『東京大学史料編纂所報』第47号 東京大学史料編纂所)
- 2012 渡邊大門「守護山名氏の石見国支配」(『鷹陵史学』38号)
- 2012 榊原博英「島根県西部(石見国西部)における中世出土銭貨」(『出土銭貨』31号)
- 2013 長谷川博史「中世西日本海水運の成立と日常的交流の拡大」
(同著『中世水運と松江一城下町形成の前史を探る一』松江市教育委員会)
- 2013 原 慶三「益田氏系図の研究」(『東京大学史料編纂所研究紀要』23号)
- 2013 『中須東原遺跡』(益田市教育委員会)
中司健一「文献史料に見る中世益田地域の流通経済・対外関係」
長澤和幸・松本美樹・木原光「総括」
井上寛司「中世の益田川関と沖手、中須西原・東原遺跡」
村上 勇「高津川・益田川河口域の港湾遺跡出土陶磁の背景」
- 2014 長村祥知「寿永西海合戦と石見国の川合源三」(『鎌倉遺文研究』33号)
- 2014 佐伯昌俊「石見西部における出土銭貨」(『出土銭貨』34号)
- 2014 菊池浩幸「戦国時代の戦争と地域社会」(高橋典幸編『戦争と平和』竹林舎)
- 2014 近江俊秀「日本海の海上交通と駅路」(同著『日本の古代道路』角川学芸出版)
- 2014 岸田裕之『毛利元就』(ミネルヴェ書房)
- 2014 久留島典子「不完全な文書の魅力」(東京大学史料編纂所『日本史の森をゆく』中央公論新社)
- 2015 『記録集 シンポジウム「中世山陰の流通と国際関係を考える」』(益田市教育委員会)
長澤和幸「中世港湾遺跡群の発掘調査概要」
長谷川博史「中世西日本海地域の流通と交易」
中司健一「中世石見国益田をめぐる流通と益田氏」
パネルディスカッション「中世山陰の流通と国際関係を考える」
- 2016 木原 光「港町をめぐる 石見益田」(仁木宏・綿貫友子編『中世日本海の流通と港町』清文堂)
- 2016 佐伯昌俊「石見地方西部における中世墓終焉期の諸様相―益田市周辺を中心に―」
(中世葬送墓制研究会編『山陰地域における中世墓終焉期の様相』中世葬送墓制研究会)
- 2016 桑田和明「宗像氏貞没後の宗像氏」(同著『戦国時代の筑前国宗像氏』花乱社。初出は2010、原題は「小早川氏領国下における筑前国宗像氏について」)
- 2016 『しまねの古代文化』第23号
※平成27年11月22日に益田市で開催された古代文化シンポジウム「中世益田平野の景観と益田氏」の記録集
秋山伸隆「益田氏と毛利氏」
瀬戸浩二「益田平野の古環境の変遷」
中司健一「中世益田平野の開発と流通」
倉恒康一「中世の出雲平野とその開発」
司会：西尾克己、パネリスト：秋山伸隆、瀬戸浩二、中司健一、倉恒康一
「討論 (パネルディスカッション)」
- 2016 中世都市研究会編『日本海交易と都市』山川出版社
井上寛司「中世都市石見益田の成立」
小島道裕「戦国・織豊期城下町研究からみた石見益田」
木原光・松本美樹「益田氏城館跡(三宅御土居跡・七尾城跡)の構造」

- 長澤和幸「中須東原遺跡と港湾遺跡群」
 中司健一「文献からみた中世石見の湊と流通」
 村上 勇「高津川・益田川河口部港湾遺跡の交易ネットワーク」
 五味文彦「益田大会を振り返って」
- 2016 佐藤竜馬「前近代の港湾施設」
 (市村高男・上野進・渋谷啓一・松本和彦編『中世港町論の射程 港町の原像：下』岩田書院)
- 2017 中司健一「石見地域の日本海交流・交易」(『歴博』202号 国立歴史民俗博物館)
- 2017 J R西日本『グッとくる山陰』2017夏号 J R西日本米子支社
- 2017 高屋茂男編『石見の山城』ハーベスト出版
 高屋茂男「七尾城跡(益田城)」、「馬谷高嶽城跡」、「角井城跡」、「向横田城跡(首旁之城、首片木城、頸ヶ滝城)」、「叶松城跡」、「道川城跡」、「畝状空堀群の山城」、「発掘された城の遺構」
 山根正明「丸茂城跡」、「四ツ山城跡」、「下瀬山城跡」
 守岡正司「中世の山城跡から出土した遺物」
- 2017 目次謙一・角野広海編『石見の戦国武将』島根県立石見美術館
 目次謙一「「石見の戦国武将」展の構成と中世石見国」
 佐伯徳哉「平安末期藤原摂関家の石見知行国支配と対馬海域」
 西田友広「鎌倉時代の益田氏と石見産材木の流通」
 川岡 勉「中世後期の石見守護と国衆」
 西島太郎「室町幕府と石見益田氏」
 本多博之「中近世移行期西日本海地域の流通と海辺領主」
 大庭康時「中世の港湾遺跡」
 長崎 巖「益田家伝来「茶麻地綴り織胴服」の歴史的位置付け」
- 2017 益田市教育委員会編『中世益田ものがたり』益田市・益田市教育委員会
- 2017 国立歴史民俗博物館『中世益田現地調査成果概報』Vol. 1 国立歴史民俗博物館
- 2017 浅野友輔「戦国期の石見における地域秩序と大名・国衆」
 (戦国史研究会編『戦国期政治史論集 西国編』岩田書院)
- 2017 原 慶三「貞治～応永年間の芸石政治史」(山根正明先生古希記念誌刊行会編『地域に学び、地域とともに』山根正明先生古希記念誌刊行会)
- 2018 島根県古代文化センター編『石見の中世領主の盛衰と東アジア海域世界』島根県古代文化センター
 佐伯徳哉「平安末期藤原摂関家の石見知行支配と対馬海域」
 西田友広「中世前期の石見国と益田氏」
 川岡 勉「中世後期の守護支配と石見国衆」
 西島太郎「室町幕府と石見益田氏」
 中司健一「中世後期石見国人の動向と室町幕府・大名」
 倉恒康一「戦国期の石見国浜田と領主権力」
 目次謙一「中世石見国周布士氏の所領とその性格」
 本多博之「中近世移行期西日本海地域の流通と海辺領主」
 大庭康時「中世遺跡出土の港湾関連遺構と石見の港湾」
 大庭康時「石見における大内式土師器の分布とその意味」
 佐伯昌俊「高津川・益田川河口部の港湾遺跡の様相—中須東原・西原遺跡を中心にして—」

東山信治「益田地域の中世港湾集落遺跡における鉄器生産—中須西原遺跡を中心に—」

鈴木瑞穂「中須西原遺跡出土鍛冶関連遺物の分析調査」

木原 光・西尾克己・守岡正司「七尾城跡の遺構と遺物の様相」

村上 勇・西尾克己・廣江耕史・木原 光・守岡正司・佐伯昌俊

「石見国・石塔鬼王帝釈天王国社経塚」

榊原博英「石見府中域の歴史的景観」

本多博之「成果の総括と今後の課題」

2018 『しまねの古代文化』第25号

岸田裕之「石見国衆連合と大名たちの室町戦国時代史」（同著『講演録で読む中国地域の戦国時代史』清文堂 2019にも収録）

久留島典子「益田家文書研究の可能性」

※「石見の戦国武将」展開連講演会の講演録。

2018 守岡正司「島根県の出土銭貨情報」（『出土銭貨』第38号）

2018 中司健一「中世益田上本郷の発展過程についての試論」

（鹿毛敏夫編『戦国大名の土木事業』戎光祥出版）

2018 『国立歴史民俗博物館研究報告』第212集 国立歴史民俗博物館

渡邊浩貴「石見国長野荘俣賀氏の本拠景観と生業・紛争」

田中大喜「「俣賀文書」の史料学的基礎考察」

2018 国立歴史民俗博物館『中世益田現地調査成果概報』Vol.2 国立歴史民俗博物館

2019 久留島典子「益田氏系図再考—史料編纂所寄託益田氏関係系図の紹介と考察—」

（『東京大学史料編纂所研究紀要』第29号）

2019 小野正敏「「場」からみる中世のモノづくり」

（村木二郎編『中世のモノづくり 国立歴史民俗博物館研究叢書5』朝倉書店）

2019 渡邊雄二「益田兼堯像の成立背景—文明年間における雪舟の肖像画制作の背景」

（『天開図画』11号 雪舟研究会）

2019 中司健一「国人衆からみた大内氏」

（大内氏歴史文化研究会編『室町戦国日本の覇者 大内氏の世界を探る』勉誠出版）

2019 岸田裕之「石見国衆連合と大名たちの室町戦国時代史」（同著『講演録で読む中国地域の戦国時代史』清文堂。初出は2018年）

2019 中司健一・角野広海編『特別展 益田氏VS吉見氏—石見の戦国時代—』（展示ガイド）

島根県立石見美術館

中司健一「総論 益田氏VS吉見氏」

小杉紗友美「コラム1 津和野にのこる吉見氏の旧跡」

倉恒康一「コラム2 下瀬山城の戦い—益田氏VS吉見氏の最前線—」

西田友広「コラム3 高津川・匹見川と材木」

目次謙一「コラム4 三本松城の戦いと毛利元就の情勢認識」

長村祥知「コラム5 源氏物語大島本の伝来と吉見正頼」

角野広海「コラム6 永明寺所蔵の伝秋月筆《文殊普賢像》について」

2020 荒木和憲「朝鮮陶磁の日本海沿岸地域への流入経路」（『なじま』10号）

2020 中司健一・濱田恒志・目次謙一「益田氏・吉見氏の「境目」地域黒谷の歴史と文化財」

（『古代文化研究』28号）

- 2021 田中大喜「中世石見国高津川・益田川河口域港湾の基礎的研究」
（『国立歴史民俗博物館研究報告』223集、2021年）
- 2020 桑田和明「新出宗像才鶴宛豊臣秀吉文書と宗像才鶴」（『宗像市史研究』3号）
- 2020 藤野正人「益田景祥と宗像才鶴—筑前の国衆、宗像大宮司氏貞の後継者—」（『七隈史学』22号）
- 2020 桜井英治「中世都市と現代」（都市史学会編『都市史研究』7号 山川出版社）
- 2021 多良木町教育委員会編『多良木町文化財調査報告書第二集 肥後宗像家文書 調査報告書』
多良木町教育委員会
- 2021 中司健一「妙義寺釈迦十六羅漢図の歴史的背景」（『島根県立石見美術館研究紀要』15号）
- 2021 中司健一「戦国時代の阿武郡」（『新・史都萩』76号）
- 2021 田中大喜編『中世武家領主の世界 現地と文献・モノから探る』勉誠出版
西田友広「材木の生産・流通と武家領主」
渡邊浩貴「西遷御家人内田氏の本拠景観と高津川流域—現地調査の聞き書きと文献資料から—」
中司健一「中世後期石見国長野荘をめぐる諸武家領主の動向」
田中大喜「石見国高津川・益田川河口域の集散地と武家領主」
鈴木康之「河口の港が果たした役割」
松田睦彦「そこに港は存在したのか？—伝承からたどる中世の益田」
村木二郎「陶磁器からみた中世益田」
荒木和憲「朝鮮初期における陶磁器の生産と貢納・流通」
- 2022 島根県古代文化センター編『中世石見における在地領主の動向』島根県古代文化センター
倉恒康一「室町・戦国初期の石見吉見氏に関する基礎的考察」
伊藤大貴「石見吉見氏と室町幕府」
川岡 勉「大内氏の石見支配と吉見氏」
久留島典子「文書戦略と領有権争い—美濃地・黒谷をめぐる益田・吉見両氏間の攻防—」
中司健一「室町・戦国期における益田氏・吉見氏の対立とその諸側面」
本多博之「毛利氏の国衆編成—石見吉見氏を中心に—」
目次謙一「石見吉見氏の一族について」
長澤和幸・松本美樹「益田市の中世遺跡」
東山信治「益田地域の中世土師器」
廣江耕史「津和野地域の中世土師器」
岩崎仁志「防長型瓦質土器と石見西部」

〈三宅御土居跡保存運動関係〉

- 1989 『月刊 歴史手帖 小特集 中世武士の館跡—三宅御土居と益田氏—』第17巻12号 名著出版
井上寛司「中世益田氏と三宅御土居—史跡保存運動の現状と課題—」
西垣晴次「中世遺跡の保存と活用—島根県益田市の三宅御土居の場合—」
村田修三「中世益田氏の居館と七尾城」
岡崎三郎「益田三宅御土居跡保存問題」
山根正明「中世益田の景観について」
- 1989 三宅御土居跡を守る会編『三宅御土居と中世益田氏』
- 1990 井上寛司「中世石見益田氏と三宅御土居」（『歴史地名通信』月報14号 平凡社）
- 1990 井上寛司「三宅御土居跡」（『季刊・自然と文化』30号 観光資源保護財団）

- 1990 市村高男「三宅御土居跡保存運動と中世城館研究の現状」（『日本史研究』339号 日本史研究会）
- 1990 三宅御土居跡を守る会編『中世の益田を歩く』三宅御土居跡を守る会
- 1991 井上寛司「三宅御土居跡の保存をめぐる現状と課題」
（歴史学研究会編集『歴研アカデミー 遺跡が消える 研究と保存運動の現場から』青木書店）
- 1991 『地方史研究』229号 地方史研究協議会
井上寛司「益田市三宅御土居の保存をめぐる現状と問題点」
小林一岳「三宅御土居跡見学記」（『地方史研究』第41巻第1号 地方史研究協議会）
- 1991 安部利一「文化財を活かした町づくり運動のとりくみー益田からの通信ー」
（『地方史研究』233号 地方史研究協議会）
- 1992 三宅御土居跡を守る会編『いま、よみがえる中世の益田ー三宅御土居跡をめぐる講演集ー（その
1）』三宅御土居跡を守る会
- 1992 空 睦弘「三宅御土居跡保存と歴史のまちづくり運動への取り組みー益田からー」
（『地方史研究』240号 地方史研究協議会）
- 1992 井上寛司「県史跡・益田市三宅御土居跡の保存と活用をめぐる」
（『自治研島根』No.278 島根自治研センター）
- 1991 寺井 毅「石見福屋氏の桜尾城・松山城・波佐一本松城の畝状堅堀群についての考察」
（『島根考古学会誌』第8集 島根考古学会）
- 1992 小林一岳「三宅御土居遺跡研究会参加記」（『地方史研究』236号 地方史研究協議会）
- 1992 空 睦弘「三宅御土居跡保存と歴史のまちづくり運動への取り組みー益田からー」
（『地方史研究』240号 地方史研究協議会）
- 1994 井上寛司「遺跡の保存・活用と市民参加のまちづくりー島根県益田市三宅御土居跡の場合ー」
（『岩波講座 日本通史』月報14 岩波書店）
- 1995 田中義昭「三宅御土居跡」（『明日への文化財』36・37合併号 文化財保存全国協議会）
- 2001 木原光「中世益田氏の城館調査と国指定について」
（『明日への文化財』47号 文化財保存全国協議会）
- 2020 石西の歴史と考古を語る会記念誌編集委員会編『三宅御土居跡の保存とその後ー歴史のまちづくり
30年』石西の歴史と考古を語る会

※令和4年6月30日現在。今後、増補改訂を進めます。